

ほくさい



2

No.356



- 02 … 特集「組合員との対話会」
- 04 … INFORMATION
- 07 … 営農ワンポイント
- 08 … ニュースストーリー
- 12 … LETTERS～みんなの声～
／俳句
- 13 … 表紙の人／長寿バンザイ
／うちのペット自慢
- 14 … 西田税理士の税務相談
- 15 … クロスワードパズル

組合員との対話会

貴重なご意見をいただきました

組合員との対話会開催結果報告

地区名	開催日	出席人数
行 田 地 区	令和7年12月10日(水)	20人
川 里 地 区	令和7年12月 3日(水)	13人
羽 生 地 区	令和7年12月 4日(木)	10人
加 須 地 区	令和7年12月 5日(金)	18人
騎 西 地 区	令和7年12月 8日(月)	7人
北 川 辺 地 区	令和7年12月 9日(火)	16人
大 利 根 地 区	令和7年12月 2日(火)	6人

組合員の皆さまからいただいたご意見やご要望と、
JA回答を一部抜粋して掲載いたします。

A Q

次年度の稲カメムシ防除
計画について伺いたい。

次年度も2回散布を計画

A Q

生産者から出荷して頂いた米は、JAでの共同計算、同様に全農でも県域共同計算し、埼玉米として販売しています。全農県段階で組織決定し、それを受けJAとして金額を決定しています。尚、実績に応じ追加精算も予定しております。

A Q

どのように米の概算金が決定するのか教えて頂きたい。

A Q

総代の皆様には「総代の手引き」を配付し、総代の役割等周知を図っております。

A Q

各地区から総代を選出し

が良く分かりません。

A Q

各地区で3月頃に栽培講習会を予定しております。

A Q

生産者への、「えみほころ」について、どの様に考えていますか。

A Q

令和8年度の予約注文について、種子の確保は出来ております。

A Q

「えみほころ」について、種子注文量に対して生産量は全量対応出来るのでしょうか。

挨拶する大塚組合長(左)と
小山羽生地域担当理事



A Q

農機センターの現状を報告して頂きたい。

農機センターは令和9年に統合を検討しています。1農機センター1出張所とし、行田市の候補地へ移転する予定です。

対話会は、JAの役職員が組合員の皆様にご意見を伺い、農家の現状を把握し今後のJA運営に反映させて、農家の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に繋げることを目的としています。



川里地区対話会で質問する組合員

Q 女性部メンバーが固定されているので、色々な所に声をかけているがなかなか集まりません。若い人が加入しやすい女性部を目指したいのでJAでも色々な所に声を掛けたい体制をお願いしたい。

A これからも女性部に力を入れて協力していきたい。

- Q** 直売所にお客様を集客する努力をしていますか。
- A** 次のような取り組みをしています。
- 地元高校書道部に横断幕の作成を依頼し「店舗の活性化」「広報誌への掲載でPR」「高校生、父兄への直売所の再認識」を図りました。
 - メーカーの野菜苗等を購入し、直売所生産者へ配付。また、栽培講習会を予定しています。
 - 利用者アンケートを実施し、利用者の意見を業務に反映します。
 - お米の割引を土曜日と日曜日から、土曜日と比較的の来客の少ない定休日の前日に変更。
 - 野菜摂取量を測れる機器で、お客様へ野菜購入の促進。
 - Aコープ商品のテント販売等を実施し、合わせて農産物の購入促進。
 - ドライブアリーを実施し、直売所を立ち寄り所に設定し、利用促進。



質問に回答する蓮見専務(右から4人目)とJA役職員

対話会を終えて

各地区で開催されました対話会に参加をいただきありがとうございました。組合員の皆さまの抱えている期待や不安を、再確認することが出来ました。対話会を通じた組合員様からの意見は、今後の事業に反映させていきたいと考えております。

今後も組合員や地域の皆様に必要とされるJAを目指し邁進してまいりますので、引き続きご指導・協力を賜りますようお願い申し上げます。

ほくさい農業協同組合

- Q** (株)ほくさいグリーンアグリの経営状況について教えていただきたい。
- A** 今年度受託作業面積は、計画16haに対し今年度実績23・8ha(田植え7・9ha、麦刈り1・5ha、稲刈り13ha、その他1・4ha)、今年度農業経営面積は、計画米18ha、麦20haに対し今年度実績米20ha、麦20ha、野菜1・1ha(ブロッコリー・カリフラワー・とうもろこし)を作付けしております。

- Q** 広域JA合併の進捗状況を報告して頂きたい。
- A** 現在、研究会の段階です。合意形成がされれば合併協議会に進んでいきます。次回の総代会資料には、5JA共通認識の掲載がされる予定です。

ひやかわの お知らせ

理事 会 か ら

12月26日の議案

- ①常勤役員執行体制について
 - ②当組合におけるリスク評価書等の一部変更について
 - ③就業規則の一部変更について
 - ④は継続審議中
- 他の議案は承認されました。

税務 法律 相談

3月2日 加須中央支店で開催

J Aでは毎月、本店、行田中央支店、加須中央支店と会場を移して土地・建物や税務・法律に関する無料相談を行っています。幅広い内容の相談に応じますので、お気軽にご相談ください。また、ご相談のある方は事前の予約をお願い致します。

〔日時〕 3月2日(月)
午後1時30分より
※相談時間は1人30分です。
〔場所〕 J Aほくさい加須中央支店
〔ご予約窓口〕
J A本店資産管理課
(048-563-3000)
または各支店窓口へ

マネロン・金融犯罪対策への 取組強化について

令和8年1月
代理理事組合長 大塚 宏

昨今、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になつてきており、新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローリングおよびテロ資金供与対策(以下「マネロン対策」)の重要性が益々高まっています。

マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは信用事業を営む当組合の責務でもあり、当組合では金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするためにマネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことにいたします。

このたび、業務課、人事課にマネロン・金融犯罪対策リーダーを設置し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めてまいります。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

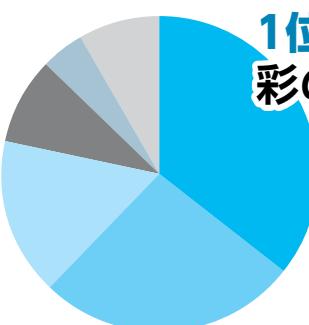
高温耐性品種のお米3種「彩のきずな」・「えみほころ」・「にじのきらめき」をJ A役職員が食べくらべしました！

411人の役職員・パート従業員のうち173人が食味アンケートに回答しました。
アンケートの結果を発表します！



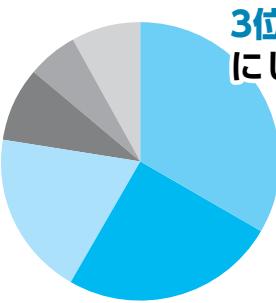
3種類の
新米を試食する
J A職員

1位 彩のきずな (36.4%)



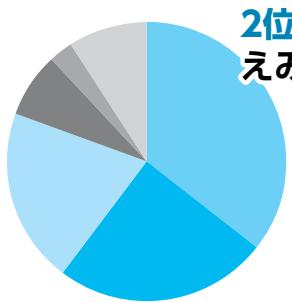
- サッパリしている 35.8%
- もっちりとして粘りがある 26.6%
- 甘みがある 16.2%
- 粒がたっている 8.7%
- 香りがよい 4.6%
- その他 8.1%

2位 えみほころ (35.8%)



- もっちりとして粘りがある 33.5%
- サッパリしている 24.9%
- 甘みがある 19.1%
- 粒がたっている 8.7%
- 色つやがよい 5.8%
- その他 8.0%

3位 にじのきらめき (27.8%)



- もっちりとして粘りがある 35.8%
- サッパリしている 24.9%
- 甘みがある 20.2%
- 粒がたっている 7.5%
- 色つやがよい 2.9%
- その他 8.7%

JAほくさい合併30年記念

JAほくさい女性部員の集い

日時

令和8年3月18日水

会場

むさしの村 ファミリー館

参加費無料！昼食付き！

応募締め切り 令和8年2月25日㈬

女性部員でなくても
女性部に興味のある方の参加も
大歓迎！

講演

人生のヒントになるお話

くさなぎ りゅうしゅん
草薙 龍瞬 氏（僧侶・作家）むさしの村のステージで
歌いませんか!!★カラオケ・踊りなど
パフォーマンス募集中★

女性部員オンステージ【余興】

懐かしの写真…
【女性部活動振り返り】

お申込みは各営農経済センター、営農支援課（048-563-3000）で承っております。

環境にやさしい農業に取り組んで「みどり認定」を受けてみませんか？

埼玉県では、化学肥料・化学農薬の使用低減など環境にやさしい農業(*)に取り組む農業者を支援するため、みどりの食料システム法に基づき県知事が認定する「みどり認定」を推進しています。

「みどり認定」を受けた農業者は、事業計画に沿って機械を導入した際に特別償却ができ、導入当初の税負担を軽減することができます。

また、さまざまな国庫補助金の採択で優遇されるほか、日本政策金融公庫の農業改良資金等の貸付けを受けられるメリットもあります。

多くの農業者に環境と調和した農業に取り組んでいただきたいと考えていますので、ご興味のある方は、下記問合せ先までご連絡ください。

*環境にやさしい農業とは？

- ・土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減
- ・燃油使用低減等、温室効果ガスの排出削減
- ・バイオ炭の農地施用
- ・農業用プラスチックの排出削減 など



県ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/documents/midorinintei.html>

お問合せ先

加須農林振興センター管理部 0480-61-3404

県庁農産物安全課 048-830-4049

JAほくさい
ガスセンター
より

令和6年度 LPガスの警報受信状況のご報告



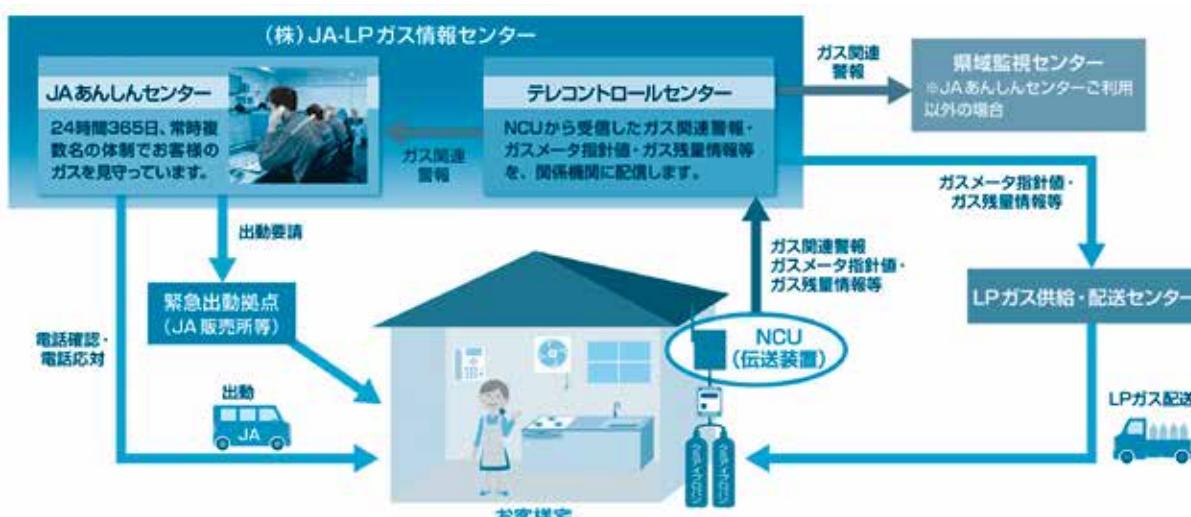
日頃 JA の L P ガスをご利用いただき
ありがとうございます。



クミアイプロパンでは**24時間・365日**お客様のLPガス使用状況を見守り安全・安心にご利用いただけるよう努めています。

ガスをご使用になる時は、**消し忘れ・換気にご注意ください。**

天ぷら火災などを防止するSiセンサー付コンロなど安全装置付きのガス器具のご利用・交換をお勧めいたします。

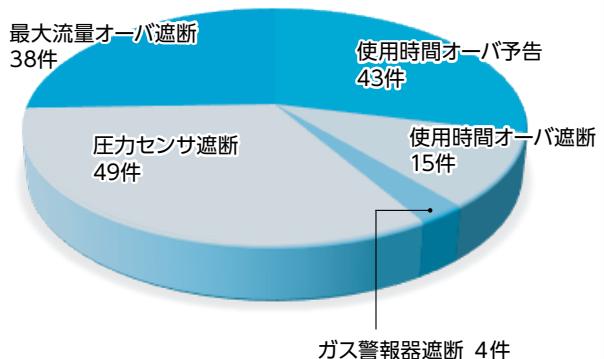


★月別・時間別警報受信件数 (県内 JA利用者集計)



JAほくさい管内 R6年度警報受信内容

※1年間で約150件の消し忘れなどの警報を受信しました。



水稻早期・早植栽培の育苗 基本を見直して健苗育成を

近年、高温による徒長や苗立枯病の発生が見受けられます。加えて令和7年産種子は酷暑の影響で、例年よりも休眠が深く発芽に時間がかかることが予想されます。基本を見直して健苗の育成に努めましょう。

℃以上の水温では病害発生の助長や、早期に発芽・発根し根が伸びすぎる可能性があります。

り灌水し、は種後は種糲が見えなくなる程度に覆土します。覆土の直後は灌水を行わないようになります。

四 管理中の章題

育苗中は表1を目安に、温度を確認しながら適正に管理しましょう。苗立枯病(表2)

来作もイネカメムシによる被害に注意が必要です。7月

表1 育苗中の温度・水管理

生育・育成の注意点		出芽期	緑化期	硬化期
生育段階	幼芽8~10mm	本葉1葉まで	本葉2~2.5葉	
留意事項	芽を伸ばしすぎない	日光を徐々に当てる	日光・外気に十分当てる	
日 数	2~3日	3~4日	10~15日	
温 度	昼夜	昼夜30℃	20~25℃ 15~20℃	20~25℃ 10~15℃
灌 水	原則しない	原則午前中	やり過ぎに注意	
備 考	32℃以上で立枯病 が発生しやすい	日中35℃以上、夜 間15℃以下にしない	夜間7℃以下にしない	

表2 主な苗立枯病の発生要因

病原菌	病徵	発生要因
フザリウム菌	・坪枯れ ・苗の地際部や糲に白～淡紅色のカビ	・緑化初めの低温（10℃以下） ・乾燥・過湿
ピシウム菌	・坪枯れ、カビは見えない ・根が水浸状に褐変し急性萎凋	・緑化期以降の低温 ・過湿
リゾープス菌	・床土表面に白いクモの巣状のカビ	・出芽期の高温（32℃以上） ・緑化期以降の低温

表3 イネ育苗中における苗立枯病の主な防除薬剤

令和7年12月24日現在の登録内容で作成

薬剤名	ピシウム菌	フザリウム菌	リゾバクトニア菌	リゾーブス菌	トリコテルマ菌	白綿病菌	希釗倍数および 使用方法	使用時期	使用 回数
ダコレート 水和剤	○		○	○			400～600倍液を、育苗箱1箱あたり500ml かん注	は種時～綠化期(た だし、は種14日後ま で)	2回 以内*
タチガレエー スM液剤	○	○					500～1,000倍液を、育苗箱1箱あたり500ml 土壌かん注	は種時または発芽後	1回*
バリダシン 液剤5			○		○		1,000倍液を、育苗箱1 箱あたり500mlかん注	は種時～発病初期	1回
ナエファイ ンフロアブ ル	○						1,000～2,000倍液を、 育苗箱1箱あたり500 ml土壌かん注	は種時～綠化期	2回 以内
	○			○			1,000倍液を、育苗箱1 箱あたり500ml土壌か ん注	は種時	

○育苗箱は、30×60×3cmで、使用培土が約5リットルです。なお、上記以外にも処理方法があります。ラベル表示を必ず確認してから使用しましょう。○農業の飛散防止・農業使用記録の記帳に努めましょう。
※複数分が含まれていますので、それぞれの成分ごとの使用回数をラベルでご確認ください。

◆イネカメムシに注意を！

の対策は、種子や育苗箱の消毒、適正な温・湿度管理が重要です。予防のための薬剤は表3とのおりです。

近年は育苗期間の気温変化が大きくなっています。気温が高い場合は、育苗用マットを剥がすなど、早めの換気を行いましょう。

来作もイネカメムシによる被害に注意が必要です。7月



0480(61)3911
農業支援部

頃から水田に飛来し穂を加害するため、ほ場での発生状況を確認し、適期防除を実施しましょう。イネカヌメムシ対策の詳細は県のホームページをご覧ください。

大玉梨「彩玉」共進会で谷部勝江さんが県知事賞受賞

埼玉県のブランド梨「彩玉」の出来栄えを競う共進会が8月27日にさいたま市の全農県本部で開かれ、加須市中種足の谷部勝江さん（加須市騎西撰果所利用組合）が最高位の県知事賞を受賞しました。

県内の生産者36人が5個1セットで出品。農業分野の県職員が、形状や品質、色調などを審査します。

12月18日に、大塚宏組合長とJA役職員らが谷部さん宅を訪れ、栄誉を祝しました。

谷部さんは「亡き父に叱られながら、梨つくりを頑張ってきた。このようなかたちで評価され大変うれしいです」と喜びを語りました。

また、加須市大桑の門井馨一さん（加須市園芸連梨部会）が、加須農林振興センター所長賞を受賞しました。



賞状を手にする門井さん



賞状を手にする谷部さん（右）と、大塚組合長



JA年金友の会会員の集いを開催

JA年金友の会（箱島登会長）は12月2日から11日の5日間、加須市むさしの村で「年金友の会会員の集い」を開き、1,229人が参加しました。式典・講演と歌謡ショーの2部構成で進行。第一部の式典では年金友の会支部長や大塚組合長が挨拶し、日頃のJA利用に感謝を伝えました。また、管内の警察署の警察官が特殊詐欺や交通安全について講演しました。

2部では、原田悠里さんの歌謡ショーで盛り上がりしました。代表曲「木曽路の女」や新曲「運試し」などを熱唱し、会場を沸かしました。



挨拶する箱島会長



開会式で挨拶する大塚組合長



熱唱する原田悠里さん



挨拶する岡部長(右)と大塚組合長

青年部がJA役員と意見交換

JA青年部は12月29日に、JA本店でJA役員との意見交換会を開きました。参加者は12人。

初めに岡博和部長が「担い手の我々が、地域農業を盛り上げていきましょう！」と力強く挨拶しました。

意見交換では、新技術の情報やJAに対する要望などが話し合われました。



左から黒澤理事長、坂本会長、大塚組合長、蓮見専務

JAが貸出金500億突破で表彰

JAは貸出金500億円を突破したことが評価され、埼玉県信用農業協同組合連合会より表彰されました。

12月12日にJA本店を訪れた同連合会の経営管理委員会坂本富雄会長と黒澤潔理事長が大塚組合長と蓮見専務に賞状と目録を手渡しました。

大塚組合長は「資金をご利用いただけたことは、地域の営みを支える大きな力となりました。引き続き組合員の皆さんに寄り添った金融事業に努めてまいります」と話していました。

当組合ホームページでは、ニュースストーリー（8頁～11頁）に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

「木甘坊」トマト出荷スタート

北川辺とまと研究会の杉山直樹会長と増田修一副会長は、12月23日にJA本店を訪れ、大塚組合長と蓮見専務に北川辺地区特産のトマト「木甘坊」を手渡しました。

選果場は12月16日から稼働し、都内の市場に出荷が始まっています。

杉山会長は「品質のよいトマトを栽培し、消費者へ届けたい」と話しました。

大塚組合長は「今年も出荷が始まり、忙しいと思いますが、体調に気を付けて頑張ってください」とエールを贈りました。



左からトマトを受け取る大塚組合長、増田副会長、
杉山会長と蓮見専務

北埼玉スマート農業研究会が研修会開催



事例発表する関和さんと会員

北埼玉スマート農業研究会は12月11日に、JA本店で水稻節水型乾田直播研修会を開きました。同研究会会員の他、JA、行政関係者ら約85人が参加しました。

2025年産の「にじのきらめき」をこの農法で栽培し、事例発表した行田市の関和英之さんは「整地後、麦撒き用の機械で播種した。除草剤散布は出芽前に行った。水張りは必要ないが、かん水は必要。反収は約8俵だった」とポイントを述べました。

同研究会の新井健一会長は「直播で、作業の省力化と収量がある程度見込めれば、規模拡大も取り組みやすくなるのでは」と話しています。

騎西農産物直売所が「直売所まつり」を開催

J A騎西農産物直売所は12月14日に、「直売所まつり」を開きました。

当日は、店頭で蕎麦打ちを実演し、打ち立ての生そばの販売を行った他、焼き芋販売やポップコーンを無料で振舞い、多くの来場者で賑わいました。

騎西農産物直売所利用組合の石川久雄組合長は「年末年始の行事にあわせ、毎年この時期に行っている。今年はあいにくの雨だったが、大勢の方にご来店いただき感謝しています」と話していました。

生そばを販売する石川組合長(右)と利用者



生徒に説明する近藤副会長(右)

加工研究会が高校生に味噌作りを解説

北川辺農産物加工研究会は12月29日に、JA北川辺支店内の加工所で、開智未来高等学校1年の、豊川佑樹さん、室井岳人さんに味噌の作り方を説明しました。

加須市の農産物を使用した加工品などを企業と協力して商品開発する授業(未来共創ラボD:食×地域開発チーム)の一環。

同研究会の近藤富子副会長と、萩原由美子さん、中野日出子さんが対応しました。

近藤さんが味噌作りの作業工程を話すと、生徒は真剣にメモをとっていました。

令和7年度新採用職員がブロッコリー収穫

J Aは12月16日に、羽生市のブロッコリーの畠で、令和7年度の新採用職員を対象に、農業研修を行いました。農業作業の体験を、業務に活かすことが目的です。

(株)ほくさいグリーンアグリの従業員の指導で、ブロッコリーの収穫と、葉を落としコンテナに詰める作業までを体験しました。

加須営農経済センターの田沼正義職員は「この一年で、田植えや畠の除草作業など経験を積んだ。農作業で得た気づきを大切にして、業務に役立てたい」と話しています。



ブロッコリーを収穫する田沼職員ら

当組合ホームページでは、ニュースストーリー(8頁～11頁)に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

女性部が正月用フラワーアレンジ



羽生支部・村君支部 12月29日JA本店で



行田中部支部 12月25日行田中央支店で

各女性支部が正月用のフラワーアレンジを行いました。

参加した部員は「正月に花を飾る風習を大切にしている。玄関に飾って来客を出迎えたい」と笑顔を見せていました。

騎西中央支部 12月29日
騎西中央支店で



J Aと女性部が社会福祉協議会に寄付

J A女性部騎西中央支部の藤井正子部長とJ A騎西中央支店の中村哲也基幹支店長は12月16日に、加須市社会福祉協議会を訪れ、銀杏祭の売上金52,646円を正能好子常務理事へ手渡しました。

藤井部長は「地域の福祉にお役立ていただけたら」と話していました。

右から寄付を受け取る正能常務理事、藤井部長と
中村支店長

各直売所で年末感謝セール

J Aの各農産物直売所は12月20日から年末感謝セールを開きました。加須農産物直売所は正月用品を取りそろえた他、20日にはんちん汁の配布を行い、22日に1,000円以上利用いただいた方を対象に、加須農産物直売所協議会が野菜の詰め放題を行い、大盛況でした。

同協議会の山崎博行会長は「年末の忙しい中、大勢の方にお越しいただきました。一年の感謝を、イベントを行うことでお伝えできました」と話していました。



野菜の詰め放題を楽しむ利用者と
山崎会長(右から2人目)

行田直売所を高校生が書で応援



右から太齋教諭、永瀬さん、山本さん、
JA行田中央支店加瀬田誠基幹支店長、島村店長

J A行田農産物直売所は12月16日より、埼玉県立進修館高等学校の書道部が作成した農産物をPRする書を店舗に掲示しています。

同直売所の島村宗好店長が直売所の活性化と地域交流を目的に、同校書道部に依頼。

同校の書道部は5人で、1年の川端星愛さんが「新鮮野菜」を、同校2年の山本唯人さんが「どれたて野菜」を、永瀬爽乃香さんが「旬の味覚」の書を担当しました。

同部の顧問太齋明日香教諭は「書を通して地域に貢献できる機会があることは、生徒の励みになる」と話しています。

当組合ホームページでは、ニュースストーリー（8頁～11頁）に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

J A年金友の会加須支部がグラウンド・ゴルフ大会開催

J A年金友の会加須支部は12月16日に、加須市市民運動公園陸上競技場でグラウンド・ゴルフ大会を開きました。参加者は100人。

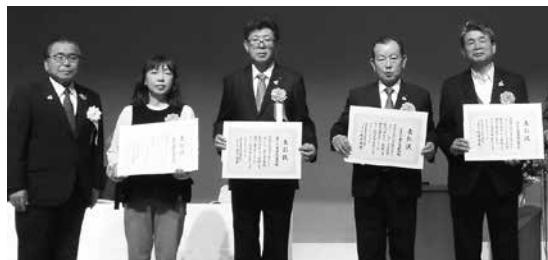
優勝は橋本君子さんでした。橋本さんは「メンバーと天候に恵まれ、最高のプレーができた」と喜びを語りました。

2位から6位は以下のとおりです。

2位：稻橋豊さん 3位：榎本和子さん 4位：綿貫忠夫さん

5位：山田時恵さん 6位：鈴木立樹さん

前列左から稻橋さん、橋本さん、榎本さん 後列左から綿貫さん、山田さん、鈴木さん



表彰状を手にする大塚組合長（右）と
JA埼玉県中央会坂本富雄会長（左）、各JA代表

J Aが家の光大会で表彰

12月8日に加須市のむさしの村で、令和7年度「埼玉県家の光大会」が開かれました。

J Aは「ちゃぐりん」8月号特別普及運動増部JAとして表彰されました。

今後も有益な情報を発信してまいりますので、JAのファミリーマガジン『家の光』・『地上』・『ちゃぐりん』をご愛読くださいますようお願い致します。

J Aの地域貢献活動

J A共済の地域貢献活動

J A共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用して食農教育・子育て支援・次世代対策を実施

ブロッコリー収穫体験

J Aは12月18日と22日、1月6日に羽生市の児童や園児を招き、(株)ほくさいグリーンアグリのほ場でブロッコリーの収穫体験を行いました。参加者は3日間で約207人。

2人1組になってブロッコリーを根から引き抜きました。

園児は「ブロッコリーが自分の顔より大きかった」と笑顔を見せっていました。

宮農支援課の渡辺昌美課長は「とれたてを味わうまでが農業体験と考えている。家庭の食卓で話題に上がれば、食農教育が実践できたと言える」と話していました。



児童や園児が、がんばってブロッコリーを収穫しました



VORTEX加須のメンバー
寄贈したトロフィとメダル、ボール

バレーボール大会に協賛

12月20日に加須市の騎西総合体育館「ふじアリーナ」で加須市スポーツ少年団バレー部会主催の「令和7年度加須市クリスマスカップ」が開催され、JAはこの大会に協賛しました。

J Aはトロフィ、メダル、バレー部会、JAオリジナルパックごはんの「JAほくさいのごはん」を寄贈しました。

12チームが熱戦を繰り広げ「VORTEX加須」が優勝しました。

6年生の福島さん、高橋さん、小島さんは「小学生最後のクリスマスカップで優勝できてうれしい」と喜びを語りました。

J Aが婚活交流会開催

J Aは12月7日に、加須市のむさしの村で「Xmas婚活交流会」を開きました。参加者は男性16人、女性17人。初めに1対1で自己紹介をしたあと、スイーツバイキングを楽しみ、フリートークで盛り上がりました。最後にマッチングを行い6組のカップルが誕生しました。

カップルになった男性は「よい出会いの場を提供いただき感謝します」と話していました。

当組合ホームページでは、ニュースストーリー（8頁～11頁）に掲載の写真がカラーでご覧いただけます。

子や孫へ遺しておきたいもの

質問

産を志向するようになりました。相続を単なる財産分けの機会ととらえ、家より個人を優先する相続へ進みそうです。

家産の現状

主穀と施設野菜を経営する77歳の専業農家です。我が家家の祭祀と家業を誰に承継させるか思案していましたところ、長男の子（22歳）が農業に興味を持ち就農してくれました。私の相続人は配偶者（青色専従者）と長男（会社員）、二男（公務員）、長女（団体職員）の4人です。相続税の負担の最小化もさることながら次世代へ何を託し何を継承すべきでしょうか。

答

農家の相続は均分相続の定着によって家を守るという大義が薄ってきたようです。土地に執着した時代から40年経つだけに相続人らは土地建物より金融資

目的もなく蓄え、横並びを好み隣と同じことをしていれば安心な社会を生きてきた親の世代の所産には枚挙に暇がありません。所産には枚挙に暇がありません。次相続のために作付けしないでおく市街化区域の農地、子らが住まない大きな住宅、植木場になつた広大な庭、他人が管理する自作地、契約書が無く賃料が据え置かれたままの賃貸物件、不要不急の道具などが厳然としている。次の世代がこのまま受け入れてくれるだろうか。個を優先する社会を生き残く次世代へ押し付けにならないか、余計な相続税を納めさせることにならないか。

家産のたな卸

収入があり小金を持つ子ども達も50代になりました。営農が

次世代への財産移転

次世代への財産移転を促す政策があります。持ち戻しのない基礎控除の付いた相続時精算課税贈与、非課税とされる住宅取得資金の贈与、教育資金の一括贈与、結婚子育て資金の一括贈与、特定障害者扶養信託受益権の贈与。就農と経営支援を兼ねた農地の贈与税の納税猶予制度

生前協議を開きます。我が家が進むべき方向と承継計画を見直すことにします。

後継者に遺したい家産

「児孫のために美田を残さず」という諺がありますが、地味あふれる耕地、優良な耕作権、守つてきた種苗、我が家家の栽培の秘伝は全て次世代へ遺したいものです。農業は一人ではできない。

後継者に託すこと

安心安全な食糧を供給するという自負のもと、採算の取れる

無くても実家の管理は煩わしい存在かもしれない。家産をたな卸して財産目録にしてみると財産債務の全容を一覧にして、相続税の総額を知ることができます。脈々と受け継がれてきた捨て難い道具、生活と家業に必要な家産、権利関係が争われている土地建物などに仕分けして、その収益性や換金性、承継性、機能性の優劣を評価し、債務の因果関係を把握できたら親子で

贈与税の納税猶予の特例は受けられません。できれば、祖父とお孫さんが養子縁組をされると生前贈与や遺贈の制限がなく、相続税も軽減されることになります。

経営を管理する

農地の固定資産税、都市計画税、土地改良費、水利費、償却資産税、小作料などの負担は生産原価であり投資です。投下した生産原価でいくらの付加価値を上げるべきかを戦略として考えます。JAの穀類乾燥調整施設や倉庫、農機具センター、JAの受委託事業を活用できればより効率的です。採算を優先した経営規模を摸索する必要があります。借入金は利益から返済することですから欠損は回避しなければなりません。農業は事業ですから、減価償却費を計上してもなお利益がなければ元手を回収したことにはなりません。利益が出たら納税と社会還元を心がけたいものです。

お孫さんの就農の条件

就農にあたってお孫さんは、耕地や施設そして従事者を確保することになります。耕地と施設は祖父と使用貸借契約を結び、祖父母と母は専従者になります。

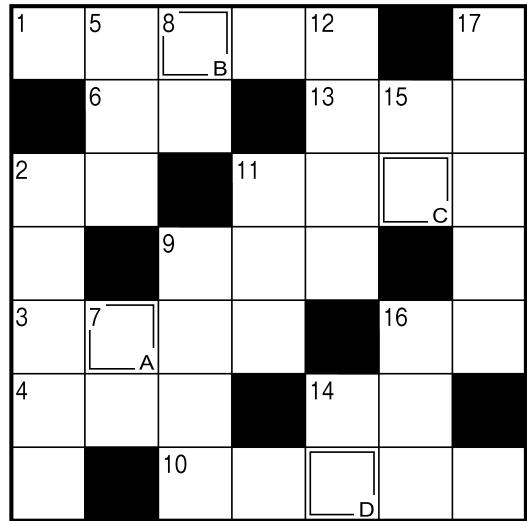
耕地は生前贈与とするか遺贈を受けることにします。養子でないお孫さんへの農地の特定遺贈は認められません。新規就農者として、生前贈与による許可を得ることができます。農地の贈与税の納税猶予の特例は受けられません。できれば、祖父とお孫さんが養子縁組をされると生前贈与や遺贈の制限がなく、相続税も軽減されることになります。

耕地にあたってお孫さんは、耕地や施設そして従事者を確保する試行錯誤が大切です。適地適作の基本に立ち返るも、作目の組み合わせをして端境期を作らないことも大切です。自作地や中間管理機構を通じて確保した優良な耕地の地力を引き出して生産性をあげることです。



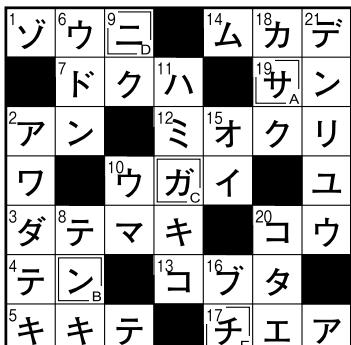
クロスワード
パズル

二重マスの文字を
A～Dの順に並べ
てできる言葉は何
でしょうか？



(出題)ニコリ

- ヨコのカギ
- 1 節分にまるかぶりします
 - 2 働き者のイメージがある昆虫
 - 3 羽根つきに使う道具
 - 4 保育園の——に手編みの帽子
 - 5 を出品した
 - 6 張り上げたりひそめたり
 - 7 強い風に雪が舞います
 - 8 張り上げたりひそめたり
 - 9 節分にまるかぶりします
 - 10 働き者のイメージがある昆虫
 - 11 羽根つきに使う道具
 - 12 保育園の——に手編みの帽子
 - 13 を出品した
 - 14 強い風に雪が舞います
 - 15 張り上げたりひそめたり
 - 16 節分にまるかぶりします
 - 17 保育園の——に手編みの帽子
- タテのカギ
- 1 東京にある、昔は電気街、今はポップカルチャーハーの街
 - 2 羽根つきに使う道具
 - 3 羽根つきに使う道具
 - 4 保育園の——に手編みの帽子
 - 5 を出品した
 - 6 強い風に雪が舞います
 - 7 張り上げたりひそめたり
 - 8 強い風に雪が舞います
 - 9 節分にまるかぶりします
 - 10 働き者のイメージがある昆虫
 - 11 羽根つきに使う道具
 - 12 保育園の——に手編みの帽子
 - 13 を出品した
 - 14 強い風に雪が舞います
 - 15 張り上げたりひそめたり
 - 16 節分にまるかぶりします
 - 17 保育園の——に手編みの帽子



（個人情報の取り扱い）この応募用紙は抽選と商品発送およびお贈りします。正解者には抽選により賞品を掲載させていただくことがあります。締切は令和8年2月末日到着分まで。お贈りします。

（個人情報の取り扱い）この応募用紙は抽選と商品発送およびお贈りします。正解者には抽選により賞品を掲載させていただくことがあります。締切は令和8年2月末日到着分まで。お贈りします。

★野村のり子さま（加須）
★坂本和加子さま（加須）

★川田 忠夫さま（羽生）
★間中 登さま（川里）

☆12月号クロスワードパズルの当選者は次の8名です。
記念品をお贈りします。

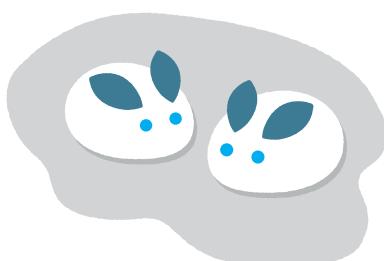


「うれしかった」

編集後記

ついこの間、新年を迎えたと思ったらもう2月……時間が経つのが本当に早く感じます。今日はミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開幕します。日本選手の活躍に期待ですが、時差が8時間ということで、寝不足にも気を付けたいと思います。寒い日が続いておりますので、皆様も体調を崩さぬよう、お過ごしください。

—



第4回 JAほくさい写真コンテスト

参加者募集!!



JAほくさい管内は、平坦で肥沃な土壌と利根川を水源とした豊かな水に恵まれた穀倉地帯です。また、野菜、果実、花卉の園芸も盛んで豊富な種類の作物を栽培しています。多くの遺跡、城下町の街並みや田園、豊かな自然が残される風景を伝えるため写真コンテストを開催し写真を募集します。

企画	ほくさい管内で撮影された写真を募集し、審査後に入選作品を広報誌「ほくさい」やJAカレンダー等の発行物をはじめ、ホームページ等に掲載
テーマ	① JAほくさい管内の春らしい「農」（農地、農作業、農産物）の風景 ② JAほくさい管内の春らしい「人」が集う風景 ③ JAほくさい管内の春らしい文化行事・年中行事の風景
撮影時期	令和8年2月4日(水)～4月30日(木)まで
応募資格	J Aほくさい組合員・役職員
賞	最優秀賞 賞状・副賞 10,000円相当の品 優秀賞 // 5,000円相当の品 優良賞 // 3,000円相当の品
審査	J A内で審査会を開き選考決定
発表	2026年度広報誌「ほくさい」誌面、ホームページにて発表
写真の取り扱い	(1)写真の著作権はJAほくさいが所有すること (2)人物が特定できる写真は、該当者の肖像権に関する了承を得ていること (3)最優秀者はJAカレンダーに写真撮影者の氏名を掲載する。JA役職員の場合はJA名のみ掲載する
規格	写真1枚（デジタル写真データ・横・1 MB～8 MB・JPEG等）
応募方法	J Aほくさいのホームページ（応募フォームはこちら）より、該当欄に必要事項を入力の上、送信する
応募期限	令和8年5月11日(月)まで

※お申込みの際に取得した情報は、広報誌「ほくさい」やJAカレンダー等の発行物や、ホームページ等以外では使用しません。



2025年最優秀賞作品
幸水の花かけ



応募はコチラ→

お問合せ先



営農支援課 写真コンテスト係

TEL : 048-563-3000 FAX : 048-561-4530

e-mail : hokusai015@st-ja.or.jp



2月号(No.356) 2026年2月1日発行

編集・発行 ほくさい農業協同組合 〒348-8513 埼玉県羽生市東7-15-3

TEL 048-561-6911㈹ URL <https://jahokusai.jp/>

ホームページ



Facebook



LINE

